

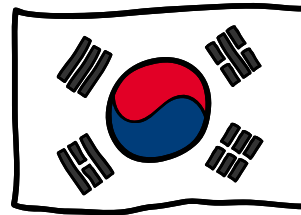
留学先：**国立木浦大学校（韓国）**

留学プログラム： 交換留学（2023年度冬季派遣）

留学期間： 1年間（2024年3月～12月）

学部学科： 交流文化学部 国際交流・観光専攻

学年（留学開始時）： 2年



留学を志したきっかけ

留学のきっかけは、幼い頃から韓国に興味を持っていたことです。特に、韓国で学生生活を送ってみたいという思いがあり、大学入学前から留学を決意していました。交換留学制度を利用しようと決めたきっかけは、大学入学後に参加した留学説明会です。当初は語学堂に通い、語学力を高めてから交換留学をしようと考えていました。しかし、1年間の交換留学を希望していたため、卒業までの時間や、語学堂では現地の学生と交流する機会がほとんどないと聞き、私の留学の目的である現地の学生との交流が難しいと感じました。また、交換留学は私費留学に比べて費用が抑えられることから語学堂には行かず、交換留学に挑戦することを決めました。

留学先で学んだ内容/授業について

- ・ 翻訳や日本の文化に関する授業の他に、ホテル経営やサービス管理論などの観光について学びました。
- ・ 観光学科の授業では、レポート課題やグループ発表があり、とても大変でしたが韓国語能力だけでなく、コミュニケーション能力も伸ばすことができました。
- ・ 1学期には木浦大学校の語学堂も通っていました。大学の授業優先で、空いた時間に語学堂の授業を聞いていました。
- ・ テスト期間や普段の勉強はカフェや図書館を利用していました。

現地での生活

- ・ チューター制度があり、韓国人学生1名と留学生1名がペアになり、1学期の間に10回以上会うことが交流の条件となっていました。チューター制度では支援金が支給され、そのお金でご飯を食べたり、遊びに行ったりしました。チューターの学生さんもとても優しく、生活や授業で困ったことを相談したり、友達を紹介してもらったりしました。
- ・ 授業のある日は裏門にあるお店で友達と昼食をとっていました。裏門には飲食店の他にコンビニや日本食のお店も何軒ありました。カフェもたくさんあり、よく利用していました。
- ・ 2学期には大学内のバレーサークルに所属しました。サークルのメンバーと一緒に遊びに行くなど、いい思い出になりました。また、韓国の高校に訪問する機会があり、そこで韓国の大学生活だけでなく、高校生活についても知ることができてとても貴重な経験になりました。

ひとこと

留学前は韓国語に自信がなく、韓国で大学生活が送れるのかとても不安でしたが、留学先で出会った現地の方々や留学生に助けをもらいながら、とても充実した留学生活を送ることができました。この留学で価値観や文化の違いなど日本では学べないことをたくさん学ぶことができました。交換留学にぜひ挑戦してください。

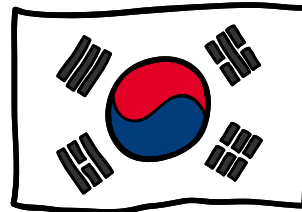
留学先：**国民大学校（韓国）**

留学プログラム：交換留学（2023年度冬季派遣）

留学期間：半年間*（2024年3月～6月）*1セメスター

学部学科：交流文化学部 ランゲージ専攻

学年（留学開始時）：3年



留学を志したきっかけ

大学一年生の夏に国際交流センター主催の韓国・朝鮮語海外セミナーⅠにオンラインで参加した際に、韓国語で自分の意見を述べてコミュニケーションを図ったり、新しい知識を習得したりすることの楽しさを実感したことがきっかけで、二年生の四月ごろから交換留学をしたいという目標ができました。また、韓国の大学の雰囲気味わいながら現地の学生と一緒に授業を受けたい、韓国語という一つのツール使って新しい知識を学びたいという思いが強かったため、交換留学を選択しました。留学期間は就職活動のことも考慮して半年間にしました。

留学前の語学学習

- 交換留学への出願資格は満たしていましたが、半年という限られた期間の留学だったため、できる限り韓国語のレベルを上げた状態で留学に行きたいと思い、10月にTOPIK IIを受験しました。インターネットで調べると過去問がたくさん出てくるため、それを使って勉強をしていました。
- 大学の韓国語の授業以外にも、家では好きな韓国人の動画を見たり、独り言を日本語から韓国語に頭の中で変換して言う練習をしたりするなど、机に向かって勉強するというよりは、楽しみながら毎日韓国語に触れるように心がけていました。

留学先で学んだ内容/授業について

全部で4つの授業を受けました。2つは韓国語を学ぶ授業、もう2つは専攻の授業で、韓国の大衆文化を学んだり、アニメ作品の分析を通して日本の社会と文化について学んだりしました。授業では発表をする場面が多く、そのための準備が少し大変でしたが、韓国語の能力を伸ばせるいい機会になりました。

現地での生活

サークル以外にGPSという韓国人の学生が交換学生とチームになって、韓国での思い出と一緒に作ってくれる団体の活動に参加しました。GPSでの活動はチームごとに異なりますが、私たちのチームは毎月集まってご飯を一緒に食べました。

ひとこと

交換留学は語学留学とは異なり、現地の大学で学部生と一緒に授業を受けられるのが魅力だと思います。淑徳で学んだ韓国語を使って新たな知識を得られるのはとても楽しいです。留学期間は限られているので、1日1日を大切にしながら素敵な留学生活を送ってほしいです！

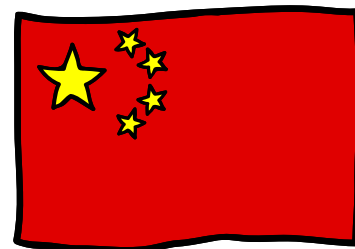
留学先：**天津外国語大学（中国）**

留学プログラム：交換留学（2023年度冬季派遣）

留学期間：半年間*（2024年2月～7月）*1セメスター

学部学科：交流文化学部 ランゲージ専攻

学年（留学開始時）：3年



留学を志したきっかけ

2年生前期に長期海外セミナー(中国語)に参加したことです。私は大学生から中国語を学び始め、大学在学中に中国へ留学することを目標に勉強していました。長期海外セミナーでは、オンラインでの留学になりましたが、中国語を学んでいくことの楽しさを感じ、中国語をより上達させたいと思いました。それとともに、オンラインであるため実際に現地の生活を体験できないことやクラスメイトと上手くコミュニケーションが取れないことにもどかしさを感じました。このもどかしさが中国へ行きたい気持ちを強くし、留学を志望するきっかけになりました。

留学先で学んだ内容/授業について

- 国際教育学院で様々な国籍のクラスメイトと共に中国語(4科目)と中国文化について学習しました。中国文化の科目は学びたいものを選択できます。
- 国際文化祭という留学生が自国の文化を紹介するイベントがありました。日本人は着物を着て、おみくじや射的を準備しました。日本の文化を中国人や他の留学生に伝えると共に、様々な国の文化を知ることができました。
- 2週間に1度開催される日本語コーナーという授業後活動に参加しました。天津外国語大学には日本語を専攻する中国人学生が多いため、中国人学生と交流する機会が沢山ありました。

現地での生活

- 中国への渡航経験が無かったため、実際の現地の様子を想像できず、中国での生活に対応できるか不安でした。実際に中国へ行き、日本に居た時には知ることができなかった中国の多くの面を見ることができました。
- 生活用品は、学校内のスーパーや学校付近のマートで簡単に購入でき、日本の製品が多くありました。すぐに買い揃えることができたので、困ることはありませんでした。
- 食事は、学校内の食堂が便利でした。値段はとても安く、種類が豊富で、授業のない土日でも営業しているので毎日利用していました。食堂の他には、デリバリーや飲食店を利用しました。中国のデリバリーは日本よりも発達していて、学校にはデリバリー受け取りの専用ロッカーがありました。

ひとこと

私はこの交換留学を通して大切な友人と忘れられない思い出を作ることができました。どれも日本に居ては経験できないものだと思います。留学するかどうか選択を悩んだ時期もありましたが、留学を終えて後悔はありません。留学に興味がある方は是非、挑戦してみてください！

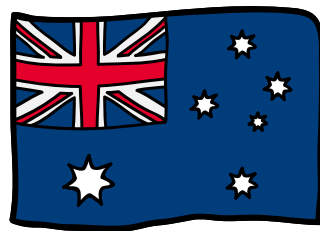
留学先：[University of Canberra \(オーストラリア\)](#)

留学プログラム： 交換留学 (2023年度夏季派遣)

留学期間： 半年間* (2024年2月～5月) *1セメスター

学部学科： グローバル・コミュニケーション学部

学年 (留学開始時)： 2年



留学を志したきっかけ

私が交換留学を決意したきっかけのうち一つは、自分の可能性を試してみたかったということです。学部での学びを、学生であるうちに実際に海外の大学に留学して実践的に活用したいと考えたからです。また、初対面の人に話しかけたり自分を表現したりすることに苦戦していましたが、留学を機に今までとは少し違う自分になってみたいと思いました。

留学先で学んだ内容/授業について

留学先では主にジェンダーや社会学、そしてデザインに関連することを学びました。授業の形式は、レクチャーとチュートリアルに分かれていて、前者は講義、後者は学生同士の話し合いが中心でした。講義においても発言の機会が設けられることがあり、学生主体であることが多かったです。また、VISUAL COMMUNICATION THEORY AND PRINCIPLESという科目では自分自身を表現するコラージュを作成するという機会があり、ビデオを編集することが楽しかったです。デザインや作品を作ることが好きな人は、ぜひこの科目を受けてみてください。

現地での生活

留学先ではバーベキューやアクセサリー作りなど様々なイベントが頻繁に行われているので、ぜひ参加してみてください。友人を増やしたい人、スキマ時間を有効活用したい人にもおすすめです！また、オーストラリアの人々は会話をすることが大好きです。お店の人や警察官など向こうから話しかけてくれることもあります。話すのが好きな人は、ぜひぜひフレーズをたくさん覚えておきましょう。オーストラリアのTV番組を観たりラジオを聴くことをおすすめします！

ひとこと

留学は、自らの可能性を広げられる貴重な機会だと思います。講義の内容は簡単ではありませんが、講義の予習と復習を地道に繰り返すことで内容が徐々にわかるようになります。疑問があればすぐに周囲の教授や学生に質問することも大切です。また、寮（マルチシェア）に住む場合はルームメイトと円滑なコミュニケーションがとれるように、いくつか日常生活で使えるフレーズを覚えておくことをお勧めします。そして、友人を増やしたい人は積極的に大学や寮が開催するイベントに参加してみてください。

いつもとは違う、非日常的な新しい刺激を求めている人はぜひ留学に挑戦してみてください！